

特別企画展

テクノフェアでは、今後大きな成長やビジネスチャンスが見込めるテーマに沿って特別企画展を開催しています。今回は「ひと・まち・暮らしを支えるテクノロジー」と題し、3分野で展示・実演を行いました。また、各出展企業のデモンストレーションの様子は会場内モニターで放映し、新技術の特徴や製品の機能などを来場者にわかりやすく紹介しました。

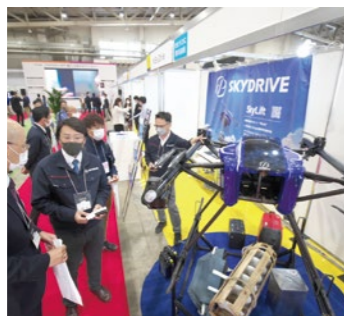
①人手不足を解消する技術

労働人口が減っていく中、人手不足を補い企業の生産性を維持・向上させるロボットやIoTをはじめとするデジタルテクノロジーを紹介。自動巡回警備ロボットや、四足歩行ロボットなどが注目を集めていました。



②まちづくりに関する技術

地域観光を支援する超小型モビリティや走行データを活用した道路舗装維持管理システム、空の物流革命として注目されるドローンなどを展示。実証実験を経てさらなる応用が期待される技術に関心が集まりました。



③日常をより良くする技術

身体や距離などの制約を解消するテクノロジーの開発が進んでいます。五指駆動型サイボーグ義手や、美術館等で活用が見込めるAR技術による作品解説スマートグラスなどを展示しました。



記念講演会 「人間ロボット共生社会の未来」

講師：ロボット学者 大阪大学教授 石黒 浩 氏

聴講者：会場 410名 / オンライン 220名

テクノフェアでは日本を代表する著名な研究者・企業経営者を招き、講演会を開催しています。今回はロボット研究の第一人者で大阪・関西万博テーマプロデューサーも務める石黒教授より、人間とロボット・アバターが共生するこれからの社会の姿について、ご講演いただきました。講演では、アンドロイド研究の意義やアバター技術の必要性について力強く語られていました。



新製品・新技術公開プレゼンテーション

保有する技術シーズや研究成果、最新製品、事業化事例などについて出展者によるプレゼンテーションが行われました。プレゼンテーション終了後は、受講者が活発に名刺交換を行い発表者と意見交換する姿も見られました。

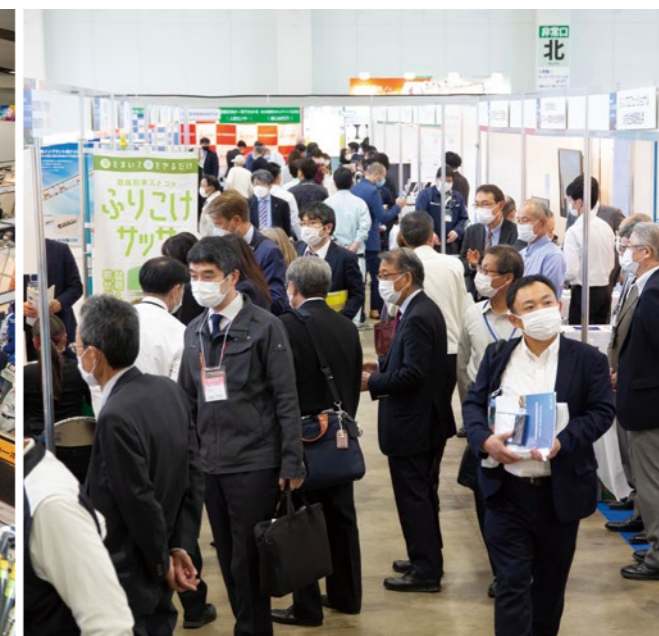
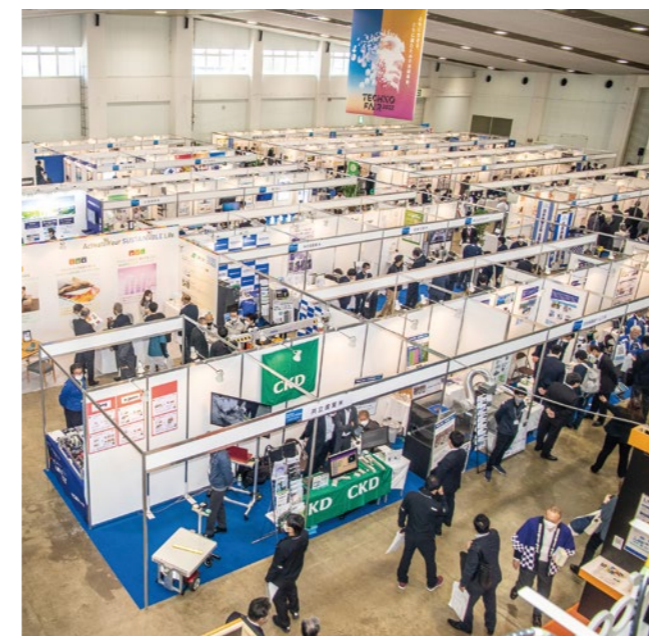
発表者：13社・団体



北陸技術交流テクノフェア TECHNO FAIR 2022

開催のご報告

北陸最大級の総合技術展示会「北陸技術交流テクノフェア 2022」は、福井県産業会館をメイン会場としたリアル展示に加え、オンライン上で製品紹介・商談ができるWeb展示のハイブリッド方式にて開催。33回目を迎えた今回、北陸地域をはじめ全国から企業・大学・研究機関など158社・団体が出展し、優れた技術・製品を展示・PRしました。



多数の方々のご来場、誠にありがとうございました

開催結果

出展者数：158社・団体

リアル展示：2022年10月20日(木)・21日(金) 10:00~17:00

会場：福井県産業会館(メイン会場)、福井県生活学習館

来場者数：10月20日(木) 8,448人、21日(金) 7,832人

合計 16,280人

Web展示：2022年10月3日(月)~11月30日(水) ※会期延長



3年ぶりに学生来場企画を実施し、企業研究や情報収集のため県内企業を中心にブース巡回をしていただきました。出展企業においても、学生に自社技術や製品をPRする機会となりました。